

I 第49週の発生動向 (2013/12/2~2013/12/8)

1. インフルエンザについては、弘前、八戸、上十三保健所管内から4人報告があり、迅速診断キットによる型別はA型1人、B型3人でした。
2. 水痘については、患者報告数が前週の89人から103人に増加し、東地方+青森市保健所管内に**注意報**が発令され、上十三保健所管内では第48週から**注意報**が継続しています。
3. RSウイルス感染症、感染性胃腸炎については、患者報告数が前週より増加しています。

II 第49週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週対比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ			1	0.1	2	0.1			1	0.1			4	0.1	3				
小児科 (74) RSウイルス感染症	27	3.4	45	5.0	8	0.9	10	2.0	10	1.7	2	0.5	102	2.5	32			27	3.4
小児科 (75) 咽頭結膜熱	11	1.4	1	0.1	2	0.2							14	0.3	-4			11	1.4
小児科 (76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.0	7	0.8	7	0.8	4	0.8	4	0.7	4	1.0	34	0.8	3			8	1.0
小児科 (77) 感染性胃腸炎	53	6.6	33	3.7	19	2.1	6	1.2	12	2.0	20	5.0	143	3.5	39			53	6.6
小児科 (78) 水痘	35	4.4	20	2.2	6	0.7	8	1.6	29	4.8	5	1.3	103	2.5	14			35	4.4
小児科 (79) 手足口病					1	0.1	1	0.2	3	0.5			5	0.1	-5				
小児科 (80) 伝染性紅斑	2	0.3											2	0.0	2			2	0.3
小児科 (81) 突発性発疹	3	0.4	4	0.4	1	0.1			4	0.7	1	0.3	13	0.3	2			3	0.4
小児科 (82) 百日咳															0				
小児科 (83) ヘルパンギーナ															-1				
小児科 (84) 流行性耳下腺炎			3	0.3							2	0.5	5	0.1	-11				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
眼科 (87) 流行性角結膜炎	5	2.5											5	0.5	0			5	2.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					2	2.0							2	0.3	-3				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎															0				
基幹 (101) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

(10) 結核(二類全数把握疾患): 青森市2人、弘前1人、八戸2人、むつ1人(2013年計:290人)

IV 病原体検出情報

検出情報は、ありませんでした。

感染症の窓

ノロウイルス

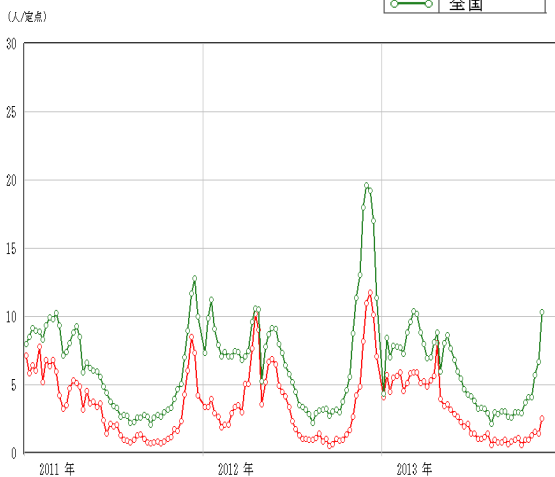


図 国内の発生状況 (2013~2013年第48週)

ノロウイルスは、感染性胃腸炎、食中毒の原因病原体の1つです。2011、2012年の県内の感染性胃腸炎の患者報告数は、12月中旬頃にピークを示し、2013年も第48週に増加しています(図)。この時期の本疾患からは、ノロウイルスが多く検出されます。

ノロウイルスは、1968年米国オハイオ州ノーウォーク町で検出され、2002年に正式に命名され、ウイルスの中でも小さく、球形です。失活化には、次亜塩素酸ナトリウム、加熱が最も有効で、エタノールも効果があります。

感染は、主に患者の糞便や嘔吐物に直接、あるいはヒトの手指を介して汚染された食品による経口感染です。また患者との接触による飛沫感染、汚物による二次感染もあります。

予防対策は、手洗いの励行、調理器具、食器等の次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度200ppm)、加熱(85℃以上、1分以上)による消毒です。汚染の恐れのある二枚貝等の食品は、中心部が85~90℃で90秒以上の加熱が望まれます。

患者の汚物処理時は、使い捨てのエプロン、手袋、マスク等を着用し、汚物を乾燥させないこと、処理後の消毒が重要です。

家庭用漂白剤(塩素濃度5%)のペットボトルのキャップ1杯分(約5mL)を、1リットルのペットボトル1本分の水で薄めると200~300ppm塩素液になります。

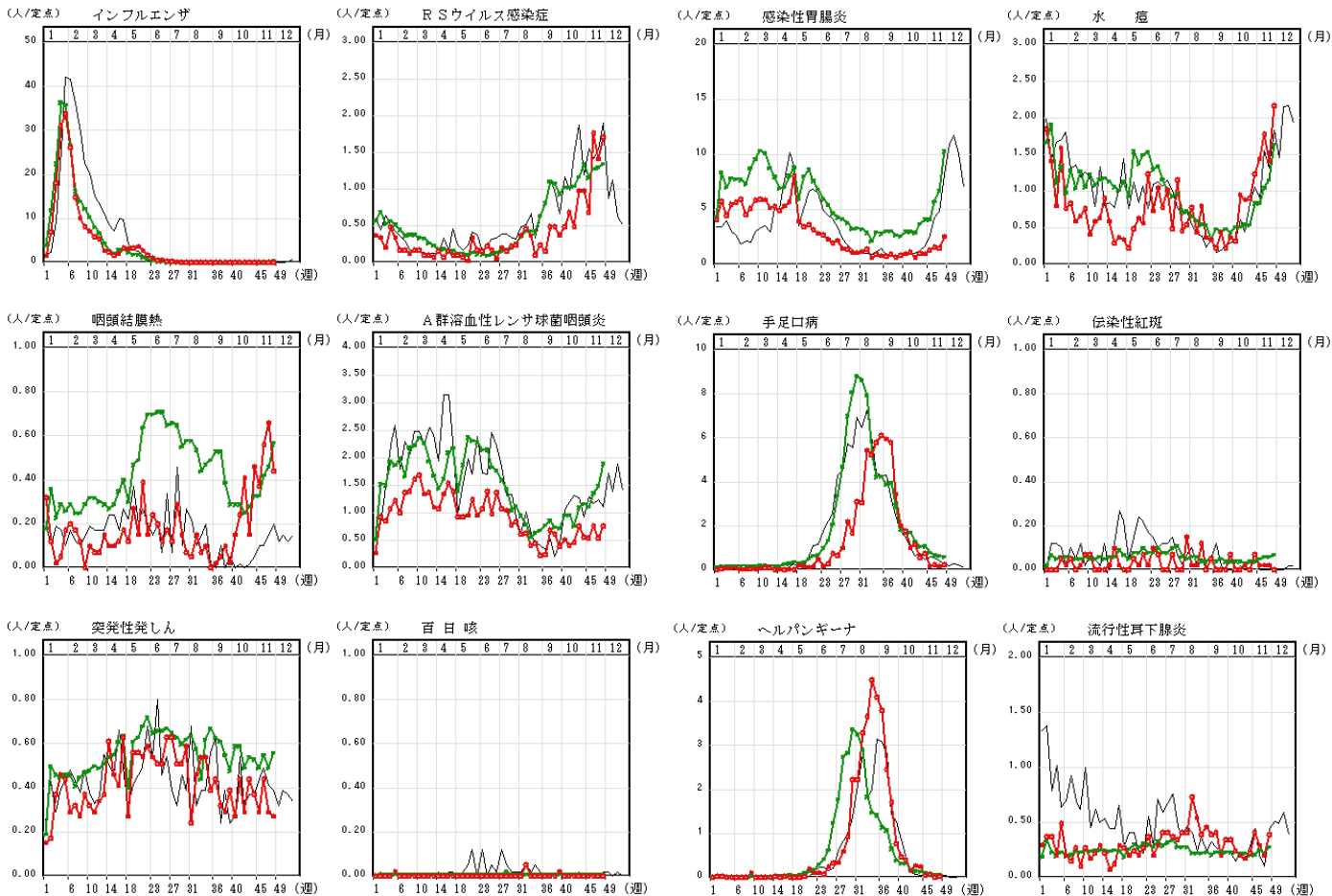
(参考 厚労省「ノロウイルスに関するQ&A」)

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>)

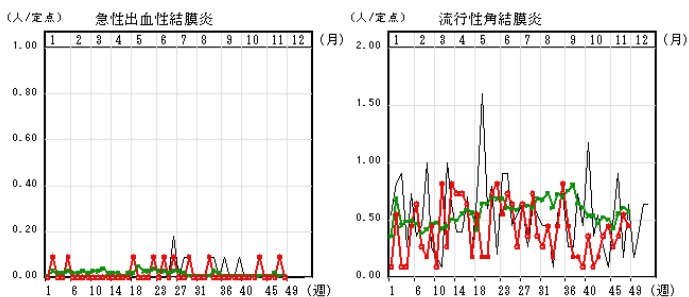
Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2013年第48週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2013年第48週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2013年第48週

